

# 研究結果報告書

日本書紀諸写本に見られる朝鮮固有名詞のアクセントの研究

所属： 釜山大学校 日本研究所

役職： 研究員

氏名： 朴 美賢

本研究では今まで調査されていなかった図書寮本日本書紀を中心とした日本書紀古写本における韓国系固有名詞の声点を調査し、韓国語漢字音の声点資料としての可能性について考察を行った。本報告書では図書寮本を中心に研究成果を報告する。図書寮本は院政後期の写本とされるもので、最古写本の岩崎本とそれに次ぐ前田本と共通の巻が存在する。そのため、図書寮本を中心に考察することで古写本における声点の全体像を把握できる見込みがある。

日本書紀における韓国系固有名詞の声点を中国の中古音、日本呉音及び日本漢音の声点を比較することで、次のような結果を得た。

第一、日本書紀における韓国系固有名詞の声点は中国の中古音とは合致しないことがわかった。また中国の中古音との対応は「平・上・去⇔平」、「入⇔入」という単純な対応になっている。これは岩崎本及び前田本においても同様の結果である。特に岩崎本と前田本・図書寮本は系統が異なるにもかかわらず同様の結果が出たことは興味深い。

第二、日本呉音及び日本漢音の上声と去声は本資料では平声と加点されている。これは岩崎本と前田本においても同様の結果である。先行研究では日本書紀の古写本は執筆当時の平安時代の日本語のアクセントを反映していると述べられているが、本研究により、外国固有名詞とりわけ韓国系固有名詞においては日本漢字音と一致しないことが明らかになったと言える。つまり当時日本書紀古写本の加点者は外国語である韓国系固有名詞については低く平に発音する「平声」として加点しようとした傾向があり、これは写本の系統を問わず共通した認識であったといえる。

## 研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

図書寮本『日本書紀』에 보이는 한국계 고유명의 声点 연구 (訳：図書寮本『日本書紀』における韓国系固有名詞の声点の研究)・朴美賢・大韓日語日文学会 2014年度秋季国際学術発表会・2014年11月15日土曜日・釜山大学校

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

図書寮本『日本書紀』에 보이는 한국계 고유명의 声点 연구 (訳：図書寮本『日本書紀』における韓国系固有名詞の声点の研究)・朴美賢・日語日文学66輯・2015年5月31日

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)

なし

## Completion Report

In this paper, I used to target tone marks of proper nouns of Korean origin which are shown in the *Toshoryo* manuscript of *Nihonsyoki* and I investigated our materials and Middle Chinese, Japan Go'on · Kan'on. The results are as follows.

First, Our materials do not parallel the tone of Mid Chinese so I have laid emphasis on reporting these materials does not reflect the tone of Mid Chinese.

That's why the tone marks of proper nouns of Korean origin observed in *Toshoryo* manuscript could be a useful literature to supplement the shortage of the amount of *Maeda* manuscript and *Iwasaki* manuscript.

Verbal Presentation (Date, Venue, Name of Conference, Title of Presentation, Presenter, etc.)

Tone marks of the proper nouns of Korean origin in the *Toshoryo* manuscript of *Nihonsyoki* · Park, Mi-Hyun · The Japanese Language and Literature Society of Korea · 2014-11-15 · Pusan National University

Thesis (Name of Journal and its Date, Title and Author of Thesis, etc.)

Tone marks of the proper nouns of Korean origin in the *Toshoryo* manuscript of *Nihonsyoki* · Park, Mi-Hyun · Journal of Japanese language and literature Vol.66 · 2015-05-31

Book (Publisher and Date of the Book, Title and Author of the Book, etc.)